

ちゅうしゅう めいげつ たの 中秋の名月を楽しもう!



あき そら まんげつ よる だんご すすき そな ぎょうじ し
秋の空に満月がきれいな夜に、お団子とススキを供える行事があるのを知っていますか。

むかし ちゅうごく おこな ぎょうじ にほん つた ひ つき
その昔、中国で行われていた行事が日本にも伝わったもので、その日の月を

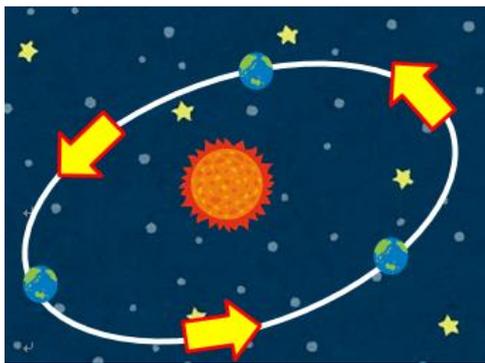
ちゅうしゅう めいげつ ことし がつ にち ちゅうしゅう めいげつ まいとし
「中秋の名月」といいます。今年は 10月1日です。でも、この「中秋の名月」は、毎年

ひ ちがう こんかい ちゅうしゅう めいげつ くわ かんがえて
日が違うのです。なぜでしょう。今回は「中秋の名月」について詳しく考えてみましょう。



きょねん がつ にち ことし がつ にち
そういえば去年は9月13日だったよ。今年が10月1日なのはなぜ？

むかしちゅうごく ぎょうじ はじ つかって こよみ いまわし
それは、昔中国でこの行事が始まったころに使っていた暦と、今私たちが使っている暦で1年間の長さが違うからです。



げんだい わたし ちきゅう たいよう まわり しゅう きかん やく
現代の私たちは地球が太陽の周りを1周する期間(約365日)を1年として暮らしています。昔の暦は満月から満月までを約29.5日で一巡する月の満ち欠けを基準にしていたので、1年の長さが違うので、差ができました。

しんげつ げつ み ひ つき み はじ ひ ついたち つぎ しんげつ げつ
新月(月が見えない日)から月が見え始めた日を『1日』とし、次の新月までを『1か月』としていました。



※今でも〇月1日のことを「ついたち」と読むこと=暗闇から月が現れた(立った)日→『つきたち』からきています=や『十五夜のお月さま』が満月を意味する言葉=1日から15日ごろが満月だった=なのも、昔の暦の考え方が由来で



ちゅうしゅう めいげつ むかし こよみ がつ にち で つき
「中秋の名月」とは、昔の暦で8月15日に出る月のこと

ちゅうしゅう むかし かんが かつ あき がつ ま なか がつ まんげつ ひ
中秋とは、昔の考え方で秋(7~9月)の真ん中、8月のことです。ほぼ満月の日にあたる15日を中秋の名月の日と決めていました。

むかし がつ にち ひ けいさん いま ひづけ あ ひ ちゅうしゅう めいげつ
つまり、昔の8月15日にあたる日を計算して今の日付に当てはめた日を『中秋の名月』に設定しており、年によって9月になったり、10月になったりする、ということになります。

ちゅうしゅう めいげつ たの 中秋の名月を楽しもう!



つき だんご そな
月にお団子とススキを供えるのはどうして?

もとは中国の中秋節という行事で、月に家族の健康や、豊作を祈りました。その際にお供え物として満月の形に見立てたお餅(月餅)を用意したことから、日本でもそれを取り入れ、丸い形のお月見団子を満月に見立てて供えるようになった、と言われています。

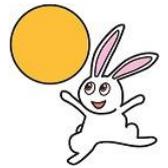


ススキは、みんなが普段から食べているお米の「稲」に似ていることから、たくさん収穫できるように、という意味と、魔除け(葉が鋭く、触ると危ないことから)の意味が込められています。

もと ちゅうごく ちゅうしゅうせつ ぎょうじ
元は中国の中秋節という行事



つき ほんとう
月にウサギがいるって本当?



つき かんさつ なに み にほん ころい つき かたち
月を観察してみてください。何に見えますか? 日本では古来より月の形を「ウサギが餅つきをしている」と見立てて、月にはウサギがいる、と信じていました。でも、他の国によっては 全然違った見方があります。頭を真っ白にして、「ウサギ以外に何に見えるか」みんなで比べてみると、面白いかもしれません。



にほん 日本



ヨーロッパ



インド



よ だまえじゅぎょう
アクティブ・レンジャーを呼んでみよう! ~出前授業について~

きじか なかむら
この記事を書いているアクティブ・レンジャーの中村です。



い かんさつ ほしぞらかんさつ しぜん なか まな だまえじゅぎょう
生きもの観察や星空観察などの自然の中で学べる出前授業も

おこな きょうみ かた きがる かき そうだん
行っています。興味のある方は、お気軽に下記までご相談ください。